

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子ども発達支援センター愛 親子通園部ゆう		
○保護者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 20	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	令和6年11月15日	～	令和6年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による支援体制により、様々な視点で連携して子どもと家族を支えることができます。	<ul style="list-style-type: none"> 各クラスに多職種の職員を配置することで、子どもの支援を多面的に行っています。 自分のクラス以外の子どもや保護者にも、積極的に声をかけるようにしています。 毎月、全体会議やケース会議などで情報共有し、園全体で支援に繋がるようにしています。 事務作業やクラスのことを役割分担しています。また、お互いに仕事量を確認し合い、助け合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内外の講師によるコンサルテーションにより、日々の療育や職員の資質向上を目指していきます。
2	少人数のグループで行うことにより、きめ細やかな支援に繋がっています。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもと保護者と密に関わり、信頼関係を築き、安心して利用できるようにしています。 少人数のグループで療育を行うことで、社会性を身につけられるようにしていきます。 園内にとどまらず、地域の公園や公共の施設や公共の乗り物に乗るなどの園外療育を経験できる機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育の入り口としての役割や就学、就園に向けて情報提供や相談などを充実させていき、子ども理解と保護者支援に繋がっていきます。
3	隣接する同法人の保育所とのホールや園庭を共有したり、行事を一緒に行うなどの交流があります。統合保育を行っている保育所なので、特性のある子どもと健常児と一緒に過ごす様子も見られます。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の時に交流できず、これまでの交流の仕方を見直しながら、職員の意識改革をし、同年齢の交流や行事の交流の仕方を工夫しています。 集団への参加が苦手な子どもにも、様子を見せたり、短い時間での参加を促したりするなど、子どもに合わせた交流を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育所の職員との交流を充実させていき、子ども理解に繋がっていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験年数が短い職員が多いため、職員の資質向上を目指しています。そのため、療育の質や保護者対応などに課題を感じています。	<ul style="list-style-type: none"> 経験ある職員の異動や退職などにより、大幅な職員体制の変化があったためと考えています。 	<ul style="list-style-type: none"> 園内外の研修に参加し、自己研鑽に努める必要があります。また、経験ある職員からの助言やアドバイスをを行い、子どもや保護者の支援に努めます。
2	短い支援時間の中で、必要な療育や保護者支援が十分に行われているか、課題を感じています。	<ul style="list-style-type: none"> 大幅な職員配置の変化に伴い、体制が整うのに時間がかかったことが考えられます。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育内容や組み立て方の見直しや時間配分などを職員全体で考え、一人ひとりに寄り添った支援ができるようにしていく必要があります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達支援センター愛 親子通園部ゆう

公表日 年 月 日

保護者等数 (児童数) 20 回答数 14

利用児童数 令和6年12月5日

割合70%

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				・教室+ホール+公園など子どもが身体を使って遊べるよう工夫されています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14				・先生が足りない日などは他の先生が来て下さったり、適切だと思います。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14				・子どもの写真が貼られているため、自分の靴箱、棚、タオル掛け、椅子などわかりやすいです。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14				・トイレや床、洗面場所などいつもきれいに管理されています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13			1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		1		・クラス職員や児童発達管理責任者と話し合いながら支援計画を設定しています。個々の発達状況に合わせて、より具体的に細やかな支援を提供できるように努めていきたいと思っています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				・イベントや活動など、普段なら絶対無理だとさせてなかったことも、先生方のおかげで色んなことができるようになりました。	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	1	2	2		今後は、隣接する保育所内の見学や行事参加などを活動に取り入れたいと考えています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1			・親が気づかなかった特性の部分など、先生の気づきではとつする時が度々あります。 ・情報提供の機会は充分になされているが、参加できる人数が少なく感じた。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14				・ものすごく親身に話を聞いて下さり、絵カードや写真などで工夫して接して下さいます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				・先生方が経験してきたお話しや知識など共有して下さいととても勉強になります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				・どの先生方もプラスな言葉と共にいつも見守って下さり、とても通いやすいです。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	1		3		・親子療育や父母の会等、折を見て機会を増やしていきたいです。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14				・面談以外でもよく話を聞いて下さり一緒に考えて下さります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	1		1	・クラスだより、園だよりを配布しています。園だよりはハグノートでお知らせするようになりました。緊急時は、ハグノートとともに電話連絡をしています。 ・今後とも情報開示に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12				・結構なペースで訓練されており安心です。 ・マニュアルは策定しています。 ・緊急時の対応については、話し合ったものをマニュアルにして各クラスで保管しています。怪我や事故についても職員で話し合い、再発防止に努めています。子どもが安心して通うことができるように、さらに話し合いや改善に努めていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			4	・毎月、避難訓練を行っています。災害発生に備えて訓練や具体的な対応策を図っていきたく思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13		1		・「先生に意地悪なこと言われなかなあ」と言っていたことがあるので。 ・お子さんの状態に合わせた言葉かけを今後も心がけてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14				・愛に行くまでの道をわかっているようで、休みの日に近くのパーサーに行ったとき、今日は行けないんだ！道が違うじゃん！と大泣きで、パーサーに行くときは愛の行き方とは真逆の道から行くようにしているほどには楽しみにしています。 ・毎週とても楽しみにしています。いつもありがとうございます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14				

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	子ども発達支援センター愛 親子通園部ゆう					公表日	年	月	日
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○						
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			・パーティション等で空間を区切っています。部屋とホールの行き来ができるようにしています。			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			・今年度より、第三者立会いのもと話し合いを行っています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○						
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・ツールは使用していませんが、子どもの姿や保護者からの情報をもとにアセスメントをしています。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○						
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○						・活動が固定されないように新しい季節の遊びや個々に合わせた活動も取り入れていけるように、職員間で話し合いを行っています。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			・当日補助で入る職員に対しては、情報共有が不十分な時があるため、事前に情報共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○				
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)					
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○					
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○				・送迎時に日々の子どもの様子や支援内容について話しながら、保護者の方と情報共有できるように努めています。また、場合によっては個別に話をする時間を設けるようにしています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○					
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・相談事や悩み事に対して、親身に話を伺うようにしていますが、職員の知識や技量の未熟さから対応が難しいと判断した際は、クラス職員や相談員などと情報共有をして助言や意見を交換しながら保護者に対応するようにしています。	・今後も継続的に専門的な知識を身に付けながら、ご相談に対応していきたいとします。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・場合に応じて、クラス職員、施設長をはじめとする管理職の職員を交えて早急に対応するようにしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードや写真、実物など視覚的情報ツールなどを使いながら、意思疎通ができるような配慮をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			・コロナ禍で実施できていなかったため、今後は考えていきたいとします。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			・本日に災害が起きた際、職員、子どもともに訓練以上のパニックに陥ることが予想されるため、普段から「もしも」を想定して過ごす必要があります。また、靴箱が近くないことや普段子どもが裸足で過ごしていること、パニックで動けなくなった時のことなど、今後の課題とされることが多くあるため、それについての対応策も考えていきます。 ・午後の避難訓練を実施し、保護者への周知に努めています。 ・保護者に周知できていないこともあるため、今後どのような形で周知していくかを話し合っていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・園内で情報共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・園内研修で虐待防止について資質向上に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○				